

景況調査

第19回「県内企業景気動向調査」(概要※)

※詳細は調査レポート (<http://www.sfsi.co.jp/>) をご覧ください。

1. 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

2. 調査の方法

オンライン・アンケート (887社*)

※有効回答数513社 (回答率57.8%)

3. オンライン・アンケートの集計方法

すべての質問項目についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合)

- (「悪い」と回答した企業の割合)

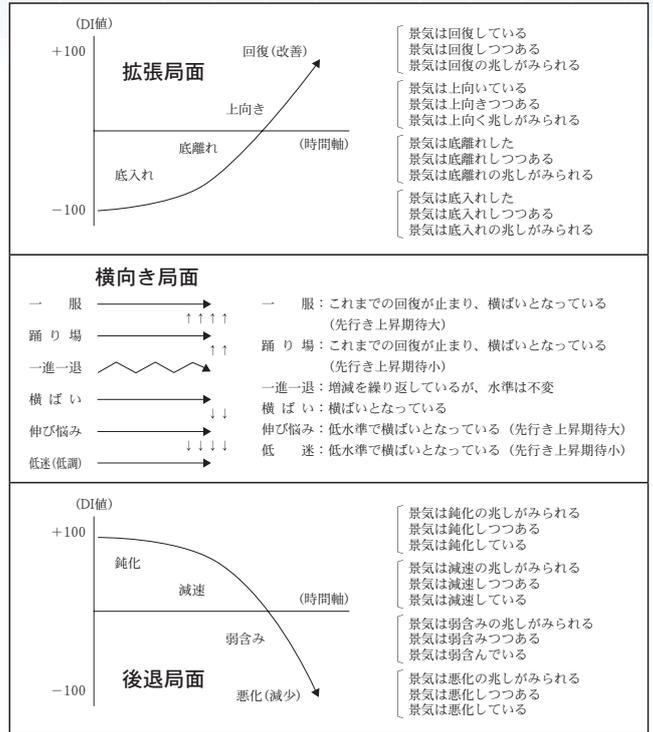
4. 調査期間

平成21年5月7日(木)~18日(月)

5. 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上市市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

6. 基調判断用語の凡例



■ 景気天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値 (前年同期比) を5段階に分けて図解したものの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 10	▲10 > DI ≥ ▲30	▲30 > DI

(前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

(今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

■ 県内企業の景気動向

現状判断：下げ止まりつつある。

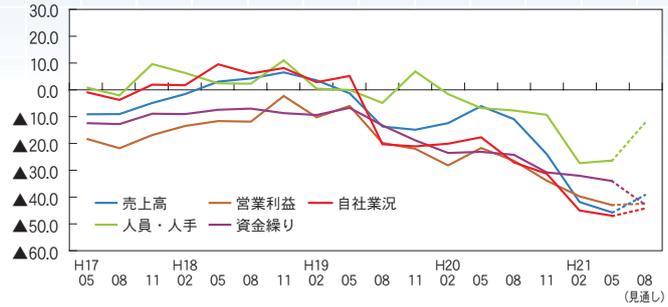
業況は、自社の業況DI値(前年同期比、以下、「業況DI値」という)が▲46.6となっており、前回より2.0ポイント低下したものの、下げ止まりつつある。

世界経済の減速を受けて内・外需ともに冷え込んでいることから、県内企業の業況は一段と厳しさを増している。ただし、公共投資や資金繰り対策などの経済対策が一定の成果を見せつつあること、および製造業の生産調整も一段落し横ばいとなっていること、観光需要が堅調に推移していることなどから、景気は下げ止まりつつある。

来期の見通し：横ばいで推移する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が2.3ポイント改善して▲44.3となるなど、先行き不安感も和らぎ、横ばいで推移する見込み。

自社業況DI値の推移 (前年同期比)



(前年同期比) (調査時点)	自社業況 (前期比)	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H21.02	▲44.6 (▲41.0)	▲41.5	▲39.4	▲27.1	▲31.8
H21.05	▲46.6 (▲45.0)	▲45.4	▲42.7	▲26.1	▲33.7
変化幅	▲2.0 (▲4.0)	▲3.9	▲3.3	1	▲1.9
H21.08 (見通し)	▲44.3 (-)	▲39.2	▲42.3	▲11.9	▲43.1
変化幅	2.3 (-)	6.2	0.4	14.2	▲9.4

■ 業種別の動向

現状判断

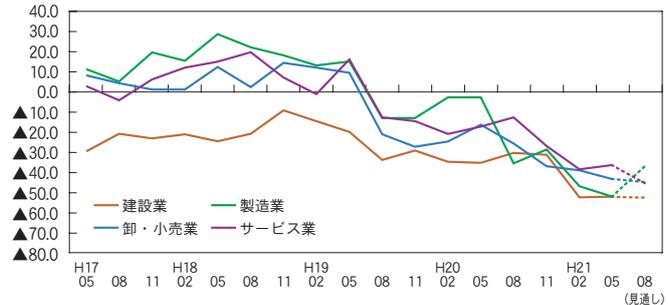
業種別では、建設業とサービス業のDI値(前年同期比)がわずかに改善を示したが、概ね横ばい。製造業と卸・小売業は引き続き悪化している。

建設業は、公共建築物やインフラ等の防災工事を中心に発注の動きが活発化していること、サービス業は、宿泊業や飲食業などの対個人サービス業を中心として観光需要が堅調だったことなどが影響した。

来期見通し

製造業は4業種の中で唯一DI値が改善を示し、▲37.0であった。自動車やトラックなどの輸送機械を中心として在庫調整が済んだところも出始めており、ストック調整も概ね秋口までには一段落するものと見られることなどから、先行き不安が和らいだ。

業種別DI値の推移 (前年同期比)



(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H21.02	▲52.7	▲47.2	▲39.2	▲38.7
H21.05	▲52.4	▲52.4	▲43.6	▲36.6
変化幅	0.3	▲5.2	▲4.4	2.1
H21.08 (見通し)	▲52.5	▲37.0	▲44.4	▲44.7
変化幅	▲0.1	15.4	▲0.8	▲8.1

■ 地域別の動向

現状判断

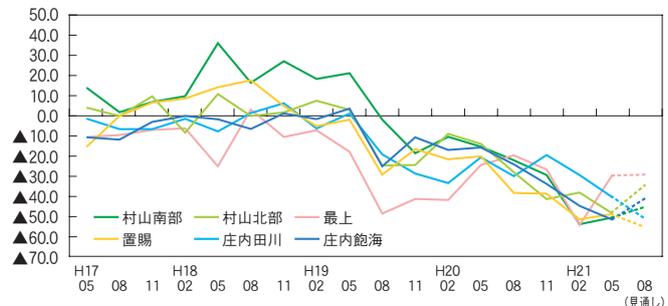
地域別では、村山北部と庄内田川、庄内飽海では前回調査時点と比べてDI値が低下した。特に、庄内田川と庄内飽海はDI値が過去最低の水準となるなど、景気の悪化が目立った。

一方、村山南部と最上、置賜はDI値が改善した。特に、最上は卸・小売業のDI値が大幅に改善したことなどをを受け、24.9ポイント改善した。

来期見通し

業況の先行き見通しは、村山南部が2期連続で改善する見通しとなるなど、最悪期を脱した感がある。また、村山北部は14.0ポイント、庄内飽海は10.5ポイントの大幅な改善見通しとなっており、下げ止まりの兆しがうかがえる。

地域別DI値の推移 (前年同期比)



(前年同期比) (調査時点)	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H21.02	▲53.7	▲38.0	▲54.1	▲51.3	▲29.3	▲44.6
H21.05	▲50.4	▲48.4	▲29.2	▲48.7	▲40.4	▲51.5
変化幅	3.3	▲10.4	24.9	2.6	▲11.1	▲6.9
H21.08 (見通し)	▲45.1	▲34.4	▲29.2	▲55.2	▲51.0	▲41.0
変化幅	5.3	14.0	0.0	▲6.5	▲10.6	10.5